平成24年度在宅医療連携拠点事業



日併市医師会立 コメモス病院

在宅医療連携拠点事業 プロジェクト

トップメニュー

みんなで支える在宅医療 自分らしい牛き方を選択しましょう



在宅医療とは・・・さまざまな慢性的な病気をかかえてい ても、自宅にいながら必要な医療サービスが受けられるこ とです。

「住み慣れた地域で生活したい」「家で最後を迎えたい」 といった本人の願いをご家族、病院の先生、開業医の先 生、歯科の先生、訪問看護師、薬剤師、ケアマネージャー など医療・介護に関係する全ての職種がチームとなって" あなた"をサポートします。

新着情報

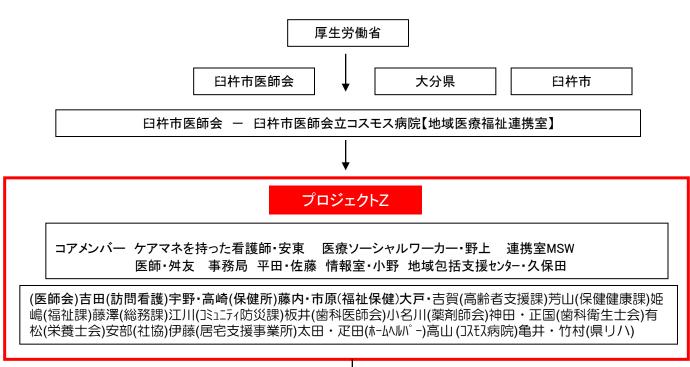
- ケーブルテレビでの番組「お家で暮らしたい」が開始されます

OMSW 野上美智子 安東直美 看護師 医師 舛友一洋

プロジェクトス



在宅医療連携拠点事業 組織図及び作業班



実働メンバーの追加

調査班

広報班

研修班

IT班

防災班

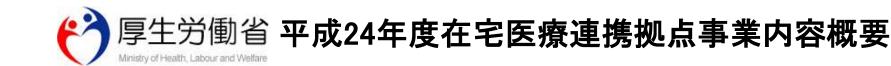
24時間体制班

- 1.医療従事者調査
- 2.医療福祉従事者調査
- 3.当事者調査1
- 4.当事者調査2

- 1.資源マップ作成
- 2.啓発用ちらし作成
-
- 3.講演会開催
- 4.ケーブルテレビ番組

- 1.研修課題抽出
- 2.研修実施
- 3.ホームページへの掲載
- 1.うすき石仏ねっと
- 2.訪問看護とのアクセス
- 3.要援護者の把握システム
- 4.防災機器の準備
- 5.安心キットとの連携

- 1.開業医への啓蒙
- 2.訪問看護との連携
- 3.24時間体制構築



在宅医療連携拠点事業のタスク

- ①多職種連携の課題に対する解決策の抽出
- ②在宅医療従事者の負担軽減の支援
- ③効果的な医療提供のための他職種連携
- ④在宅医療に関する地域住民への普及啓発
- ⑤在宅医療に従事する人材育成
- ⑥復興枠

1年の事業で基礎づくり→これから10年にわたる取り組み

- ①多職種連携の課題に対する解決策の抽出→調査班
- 1.医療福祉従事者の課題抽出ー75名によるグループワーク
 - →多職種連携の課題・人材育成の課題
- 2.福祉にかかわる市民へ在宅医療の認知度についてアンケート →啓発の課題抽出
- 3.在宅医療を受けている方への聞き取り調査(地域包括と協働)
 - →在宅医療の基盤整備・効果的な医療福祉提供の課題
- 4.がんで亡くなった方の家族への聞き取り調査
 - →現在の医療福祉サービス提供の見直し

臼杵市ですでに終了している調査

- ・臼杵市における医療機関の課題→平成23年度保健所事業
- ・臼杵市民の意識調査→平成24年度臼杵市地域福祉計画

- ②在宅医療従事者の負担軽減の支援→24時間体制班
 - 1.24時間体制の構築
 - → 医師会による救急当番体制の周知
 - → コスモス病院特別対応 難病・呼吸器疾患・アナフィラキシー

臼杵市の夜間・土日・祝日医療体制



③効果的な医療提供のための多職種連携→IT班

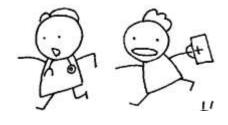


- 1.IT化による情報の共有
 - →うすき石仏ねっとの開発
 - →訪問看護ステーションとうすき石仏ねっとを繋ぐ
- 2.共有情報のためのホームページ立ち上げ
 - →ホームページ プロジェクトZ
 - →臼杵市内の研修情報の公開
- 3.情報共有のための情報ツールの開発
 - →看看連携シートの作成ー特に医療ニーズの高い方
 - →現在の地域医療連携シートの電子カルテ化

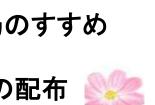
④在宅医療に関する地域住民への普及啓発→広報班

キャッチコピーとイメージキャラクターを決める

- 1.講演会 160名
 - →行政・在宅医療・福祉専門職への啓発
- 2.広報誌「コスモスの風」
 - →事業開始のお知らせ 回覧板にて市民へ周知
- 3.在宅医療資源マップ 全戸配布27.000枚
 - →かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局のすすめ
- 3.啓発用ちらし 27.000枚
 - →行政などの窓口・病院・診療所へ配置 講演会での配布
- 4.ケーブルテレビの活用「お家で暮らそう」
 - →15分枠の番組 事業の周知から各専門職が番組企画
 - 5.がん患者のためのリーフレット
 - →基幹病院ー協力病院ーかかりつけ医を繋ぐ
 - 6.プロジェクトZ2012の事業報告書
 - →2025へ繋ぐための記録
 - 7.ロコミの小さな講演会 7回
 - →専門職や地域の研修会で啓発











- ⑤在宅医療に従事する人材育成→研修班 ・研修による疲弊を防ぎ効果的な研修を行う
- 1.臼杵市内全部の研修を整理し協働で研修計画を立てる
 - →地域リハビリテーション・緩和ケアチーム・NSTチーム・褥瘡チーム・地域包括支援センター・保健所・認知症を考える会
- 2.今年度はがん患者の支援をテーマとする →医療に強い在宅医療・福祉従事者の育成
- 3.ホームページで臼杵市内で行われる研修の公開 →だれでも参加できる研修
- 4.病院の研修も地域を見据えた研修のあり方を考える

- ⑥防災のための取組→防災班
- 1災害時要援護者(医療)の把握に対するシステムづくり
 - →地域包括支援センターが在宅医療を受けている方の把握
 - →地域ケア連絡会議により1カ月ごとの更新
 - →有事の際に行政と医師会への要援護者の情報開示
- 2.臼杵市の「安心お守りキット」への情報提供 →ケアマネによる緊急時連携シートの追加

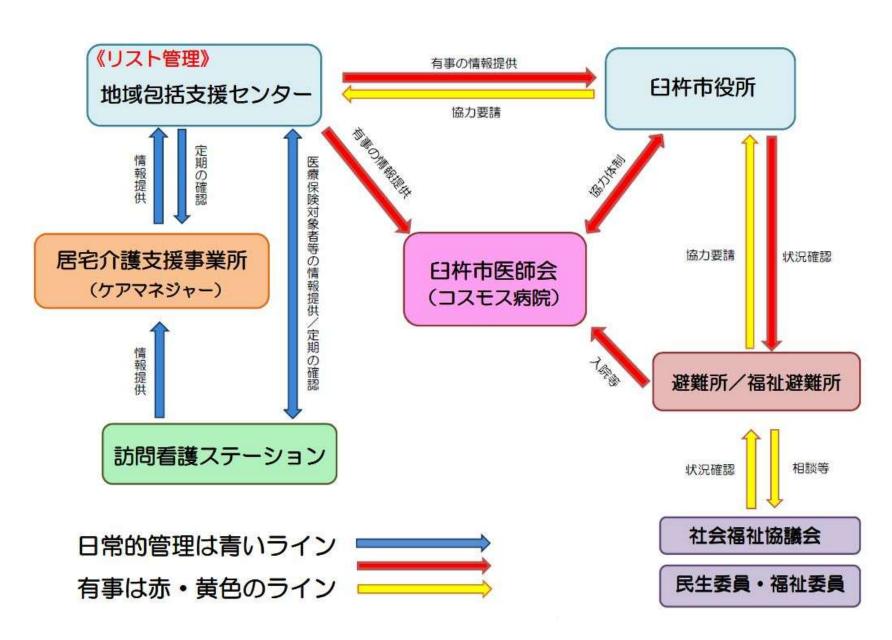
(延命の記載)

- 3.臼杵市の防災への協力
 - →防災会議・防災士養成・避難所訓練
- 4.災害時の避難所における必要物品の整備
 - →レスキューボード キャリーリーフ 30台を配置
 - →足踏み式吸引器 20台



(#k

災害時要援護者(医療)の把握と有事の情報提供の流れ



これからのプロジェクトZ

1年の在宅医療連携拠点事業で基礎づくり

→2025年へ向けての10年のプロジェクトとする

臼杵市長のマニュフェストー新時代の5つの基盤づくり

- 2.高齢者が安心して生き生きと暮らせるまち~安心~
 - •地域医療連携の強化

25年度の課題

- プロジェクトメンバーは継続
- ・活動内容の検討→作業班の見直し
- ・市町村への移行までは臼杵市医師会立コスモス病院が担当
- ・事業費の確保